

今週と来週の「売り物記事」はこれ



2017年12月22日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

秋田・大潟村の異端児 涌井徹さん

24日(日)



秋田県の八郎潟を干拓して1964年に誕生した大潟村。コメを増産する「日本の食糧基地」として全国から入植者を集めながら、国がコメの生産を抑制する「減反政策」に転じたことで、村は減反反対派と順守派とに分断されてきました。半世紀近く続いた減反は今年で終わります。反対派の代表格として国や県と闘ってきた大規模コメ農家、涌井徹さん(69) =写真=の半生と思いの一端を描きます。



筆者は秋田支局の松本紫帆記者です。

大長寿時代をどう生きるか

五木寛之さんが説く「100歳人生」

夕刊特集ワイド 25日(月)



健康、介護、お金……さまざまな不安を抱えながら、日本は「大長寿社会」に突入しつつあります。「人生80年」どころか「90年」「100年」時代とも。実際の生活面はもちろん、気持ちの面でもしっかり準備しておく必要があります。2017年が暮れゆく一夜、「百歳人生を生きるヒント」(日経プレミアシリーズ)を刊行した作家の五木寛之さん=写真=に、私たちはこの長い道のりをどう歩むべきかを語っていただきました。

ニッポンの食卓 きょうのごはんは? SNSで伝統食見直され

くらしナビA面 31日(日)

世界で最も豊かとされる日本の食。社会やライフスタイルの変化とともに大きく変容しています。くらしナビでは食卓で何が起きているのか、8回にわたってお届けします。第1回は写真SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)インスタグラムの登場。流行語大賞にもなった「インスタ映え」は食のトレンドも動かします。いったいなぜでしょうか。



勝手に調べました 犬と初詣

くらしナビA面 27日(水)



2018年は戌(いぬ)年です。1年間の無事を祈る初詣に愛犬と一緒に出かけたい飼い主も多いのではないのでしょうか。静かで厳かな寺社の境内はペット禁止のイメージもありますが、近年はペットを家族とみなす人もおり、一緒に参拝できる場所も増えています。とはいえ、飼い主がマナーを守るのが前提です。どのようにすれば良いのか、寺社取材しました。

静岡市の安藤勝志さん(75)は、太平洋戦争末期に父が裏山に掘った防空壕(ごう)のことを今も覚えています。愛知県の農村地帯でも空襲警報のサイレンがなりました。終戦直後は子どもの遊び場になった防空壕も、今はもうありません。しかし、北朝鮮情勢などで、記憶のかなたにあった防空壕のことがよみがえりました。安藤さんは平和の大切さをかみしめます。



聖地・花園で熱い戦いが始まる 全国高校ラグビー開幕

スポーツ面など 28日(木)



第97回全国高校ラグビーフットボール大会が27日、東大阪市花園ラグビー場で開幕します。全国から51代表が出場。優勝争いは2大会連続7回目の栄冠を目指す東福岡(福岡)と春の全国高校選抜大会で初優勝した桐蔭学園(神奈川)に京都成章(京都)、大阪桐蔭(大阪第1)を加えた「4強」が軸になりそう。来年1月8日の決勝まで、若きラグーマンたちが楯円(だえん)のボールを追いかけて、高校ラグビーの聖地・花園で熱い戦いを繰り広げます。

駅伝とマラソンのバランスは ニューイヤー駅伝企画

スポーツ面 28日(木)から全3回

実業団の陸上部が現在、もっとも頭を悩ませていることの一つが駅伝とマラソンのバランスです。マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)シリーズが始まり、選手たちは今季と来季のマラソンで一定の成績を残さなければ、五輪選考の土俵にも上がることができません。来年1月1日の全日本実業団駅伝大会(ニューイヤー駅伝)を前に、各チームや選手がどんな工夫をこらしているのか。企画「MGCと駅伝～上州路から目指す東京五輪」で、旭化成、トヨタ自動車、三菱日立パワーシステムズなどの取り組みを紹介します。



平成時代と改元 現代社会に元号が持つ意味

オピニオン面 [論点] 29日(金)



天皇陛下が2019年4月30日に退位され、1989年1月8日に始まった「平成」の時代が幕を閉じることとなります。皇太子さまが新天皇に即位され、19年5月1日から新しい元号がスタートします。平成はどのような時代として私たちの記憶と歴史に刻まれることになるのでしょうか。また、21世紀の現代社会に元号という制度が持つ意味は何でしょうか。時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

囲碁の井山裕太本因坊・将棋の羽生善治竜王

スペシャル対談 特集面 23日(土)



将棋、囲碁とも、主要タイトルは七つ(将棋の叡王はタイトル保持者未定)。一つだけでも快挙なのに、囲碁の井山裕太本因坊=写真左=は2度目の7冠を達成、将棋の羽生善治竜王=同右=は七つすべてで永世資格を得ました。共に国民栄誉賞授与が検討されています。その2人の大型対談が実現しました。勝負の世界について、タイトルの重圧について、縦横に語り合います。



今年の「来週の売り物記事」の配信は今号で終わります。

来年は1月12日(金)より発行いたします。